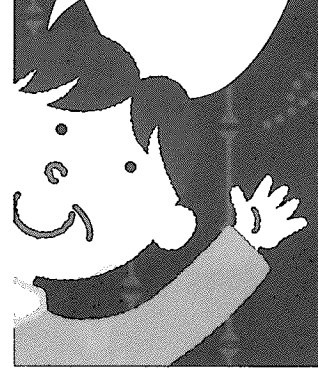


会員リレーコーナー

どうも
しばらくです



今回登場された会員からバトン
を渡された会員の皆さんは次回の
掲載になりますのでよろしくお願
いいたします。

東北電友会会報 編集委員会
※氏名の後の（ ）は退職年を示す。



五ッ橋クラブ
結城 澄雄(平18)
からのバトン

弘前地区電友会 今井 尚秀さんへ

佐野敬時さんからのバトンを受
取りました。大病を、持前の精神
力と努力で乗り越え健康で生活し
ている様子なによりです。

第2の職場を昨年6月に退職し

ました。50年間の長きに亘り働く
ことが出来たのも出会った方々の
支援があったからこそ感謝してお
ります。思い起こしますと昭和44
年6月に岩手電気通信部第二線路
工事課に採用されてから15回の転
勤を重ねて来て今は子供達も巣
立つて妻と2人暮しです。

退職後の生活に少しでも潤いを
醸し出す小さな庭とそこに咲き誇
る草花に憧れ、自分でも造ってみ
ようと一念発起して取組んでおり
ます。自宅購入時から庭づくりを
始めて来ましたが、当初は知識も
なく世話する時間的余裕もなく手
当り次第に購入した草花を植えて
いましたので小学生が造っている
花壇状態で妻からは嘲笑されてお
りました。

不要な生垣を撤去、風通しを改

善すると共にレンガ4百枚を敷き
詰め小道を作り、木立で遮光と日
当たりを確保し植物の色彩に配意
した移植を繰返しイメージした雰
囲気に仕上がってきました。

なかでも造っているのはバラで
四季咲きと一季咲きの19株を丹精
込めて手間暇かければ、期待に応
えそこから咲きほこる花に魅了さ
れ癒されております。

冬季間は翌年の開花に向けた剪
定等の準備、春先の植え替えや追
肥、夏の水管理と四季を通じて体
を動かしながら体力増進にも貢献
してくれる草花に感謝して過ごし
ている日々です。

次のバトンは第2の職場で厳し
くも楽しい時間を共に過ごした青
森県の今井尚秀さんをお願いしま
す。



五ッ橋クラブ
川又 則勝(平11)
からのバトン

五ッ橋クラブ 渡邊 勇さんへ

バトンを頂いた福原さんとは第
2の職場で共に働き、家も近所の
縁でバトンを受けました。

我家の家庭菜園についてお話し
します。退職の2年前、空地があ
りましたので一念発起、家内と2
人で畑をすることにしました。当
初、何をしていたのか分からず、先
ずは肥料を入れなくてはと酪農家
に行き、牛糞を4トトラックで土
地の真中に山積みしてもらい、妻
と2人で長靴を履きバケツを両手
に糞まみれになりながら畑となる
土地に牛糞をまき散らしたのは今
では良い思い出です。

現在は住宅も増えとても考えら
れません。

当初はスコップで耕し始めまし
たが、その後クワ、物小屋、17年
前からは歳には勝てず耕運機・草



農作業は健康の源

刈機を購入し、道具だけは一人前です。

こんな私共に友人が毎年沢山のもみ殻を下さりとでも助かりました。

作物はじゃが芋・玉ねぎ・絹さや・アスパラ等、一応一通りの野菜を作っておりますが収穫となりますと、中々思うようにならず、草取りだけが1番の仕事です。

果樹もリンゴ・桃・キウイ等8種類、桃は小さいながらも美味しく、丁度食べ頃になりますとハクビシンが来て悔しいことに種だけを残して食べて行きます。

自宅のささやかな庭でもデコポ

ン・甘夏・みかん等柑橘類が実っています。

採れても採れなくても農作業をする事が大変ながらも楽しくこれが健康の源です。

農作業以外では、妻と2人で年に1度の海外旅行を楽しみました、これからは少し国内も行くこうと思います。

次のバトンは私のゴルフの先生でもあり、第2の職場でも世話になりました渡邊勇さんをお願いします。



霞城クラブ
海藤 英世(平28)

からのバトン

いちのせき電友会 菅原千代子さんへ

冷静でいつもの確なご意見をいただいていた、木村久子さんからバトンを受け取りました。

久子さんからお電話をいただいた際、私など記憶に留めてくださったことに感謝し快諾した次第

です。

私は、主に孫の面倒を見ながら洋裁、陶芸、健康麻雀と日々を楽しんでおります。

私の現役の時は学童保育等なく子供達に寂しい思いをさせてしまいました。特に娘は誰も居ない家で、留守番をするのを嫌い、ランドセルを背負ったまま私の帰りを外で待っていることもありました。子供との時間を共有したいと思いつながら私から子供達に向けられる言葉は「早くして」でした。この様な状況を見兼ねた両親が手を差し伸べてくれた時は、なにより有り難かったことか。

その子供達も成長し、それぞれに家庭を築くことができました。ただ、家庭に収まりきれない娘は仕事に復帰し、子育てに苦悩する姿を見るにつけ、今度は私が手を差し伸べる番だと思いました。

孫のおやつを用意し帰りを待ち習い事の送迎をやっている何気ない日々が幸せです。自分の子供にしてあげられなかった事を孫にしてあげられたら、罪滅ぼしになるのではないのでしょうか。

孫も小学生になり、午前中は私の自由な時間です。洋裁をしたりカルチャーセンターに通い、陶芸と健康麻雀を学びました。洋裁は今や定期的にご注文を戴くお客様

もできました。また年に1回開催される町内会のフリーマーケットに参加し、作品を販売いたしております。ただ、手作りの作品で1万円を稼ぐのは大変です。純利益はあるのかと聞かれる事もあります。お客様の笑顔が純利益です。「こんなの欲しかったの」「この柄がステキ」等と言われたら、純利益が倍増するのです。

陶芸や健康麻雀のお仲間、退職してから初めてお目に掛かる方々ばかりですが、快く招き入れてくださり、私のいごこの良い場所になりました。

孫が成長し、私の手から離れるまで、孫にとって、いごこの良い場所をこれからも提供していきたいと思っております。

「婆ちゃん、腹減った!」

「待ってました!婆ちゃん特製、担々麺」

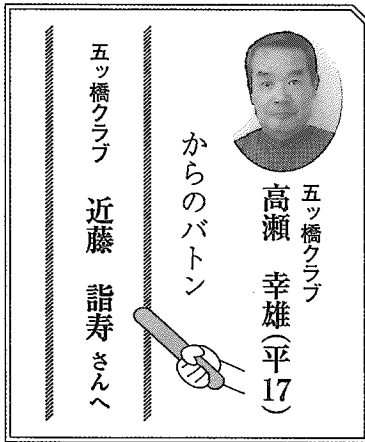
「うまいが?」と私

「うん、うまい！」
今が1番幸せな時を過ごしております。

次のバトンは菅原千代子さんです。支社業務参加研修繋がりで、共に厳しくも楽しい時を過ごしたお1人です。よろしくお願いします。



完成した作品



五ッ橋クラブ
高瀬 幸雄(平17)
からのバトン

五ッ橋クラブ 近藤 詣寿さんへ
仙台市若林区の仙台一高正門近くの元茶畑に妻と2人で住んでいます。今から40年程まえ、仙台一

高の通用門近く連坊の佐藤嘉月先生邸宅で、詩吟を習い始めたのがこの地に住む縁であります。そのきっかけは独身寮のお風呂で朗々と吟じていた佐藤嘉月先生門下生であった近藤詣寿様に、吟がよく理解できなかった高瀬が『それは何ですか』と質問したのが事の初めでありました。その後、高瀬も御霊屋下の独身寮のお風呂で、七言絶句、和歌などを吟じ始め、反響が良く、よか気分浸れた感じでした。時には、御霊屋橋下の広瀬川で練習する等、精進しました。その延長で、東京中野サンプラザでのビクターレコード大会、東京代々木の山野愛子美容学校講堂での所属流派全国大会、茨城放送の諸流派大会等、奮闘しました。その時分からの吟友でレコードを出す等この道を極めた山形新庄出のKさんが最近残念なことに黄泉の国へ旅立ち、仏前で、広島出の吟友Iさんと生前を偲び哀悼の詩吟を捧げました。

吟を始めたころ私の職場は、五ッ橋の仙台無線通信部で、無線技術の有資格が中心で若者が多く、そ

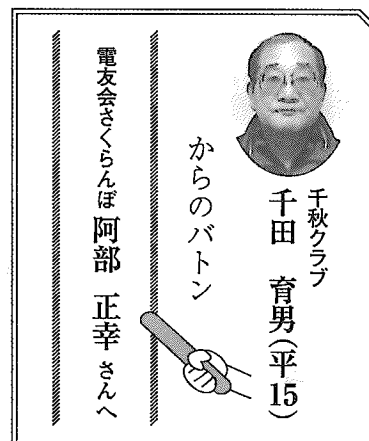
の時の職場上司から、あなたも何か資格を取る等頑張らなさいと言うご指導があり、少し勉強もしました。そうした中、併せてプラスで取得したのが国家資格・行政書士の資格でした。独身寮は、エレベータが設置された高層の独身寮で、ベットと机があり、広瀬川沿いで、環境も整ったある意味で種々の学び舎でした。現在は仙台市の災害公営住宅となっています。

今から13年前にNTTを退職し東京でグループ会社にお世話になっていましたが、6年前に、御霊屋下時代に取得した資格を活用し、現在地に行政書士高瀬法務事務所を開き、活動しています。比較的高齢のお客様が多い相続・遺言書づくり、事業承継等のお手伝いをはじめ、最近では若い方が中心の外国人留学生在の在留資格取得のため、榴ヶ岡の仙台出入国在留管理局に通っています。生活習慣・文化も大きく異なる外国人の若者とお付き合いをし、時に我が家と呼び、刺激と元気をいただいています。この4月から新たな在留資格「特定技能」制度の「登録支援

機関」として法務省の初認定を受けました。更に地域のグローバル化、外国人との共生に微力ながら貢献したいと思っています。先日は、近くの伊達家ゆかりのお寺境内でアイリッシュハーブのコンサートがあり、桜吹雪の中、種々各国の曲の演奏で文化面でも地域の国際化が進んでいます。ハーブの調べも素晴らしいがやはり吟も、この場にふさわしいとも感じました。私の次なるバトンは、現在も詩吟サークル教室を率いていらっしゃる現役の吟者である大先達の五ッ橋クラブ近藤詣寿先生にお願いします。



活動の一幕



千秋クラ
千田 育男(平15)

からのバトン

電友会さくらんぼ阿部 正幸さんへ

仙台で公私ともにお世話になつた『仏の水さん』こと水沼静寿さんより、バトンを引き継いだ秋田市在住の千田です。いつの間にか3月で70歳となり「人生80年」へ向けてカウントダウンに突入しました。

現役36年間は交換機の保守・設計・建設から始まり、法人営業で締めくくらせてもらいました。この間一生忘れることができない事項として、平成元年・2年の2年間秋田県庁へ出向し、県の事業計画である「新総合発展計画」策定に携わったことが挙げられます。秋田県が抱える弱点や課題を総点検するとともに、広く県民から声を聞き最適な施策を立案する仕事は、企業人としてはたぶん私が最初で最期だったと思っています。

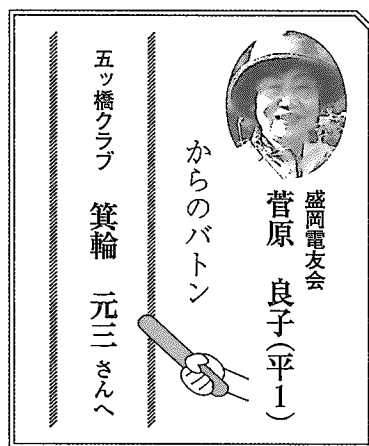
数年後の東北支社長面接の際には、「全国的にも君のような経験した人はいないのでは」と言われ、内心ではチョットいい気分浸ったものでした。その出向経験が反映してか10年後の法人営業では多くのシステムソリューションビジネスを展開することができ、また県庁のほか多くの市町村からも発注していただきました。

しかしながら、ふと気がつけば秋田県の県勢は東北最下位にありまた日本一の人口減少県でもありあらゆる指標でも衰退の一途にあるなど寂しい限りでございました。

でも、昨年の夏にやってくれました。あの金足農業高校が!!103年ぶりに決勝進出し、準優勝という輝かしい成績をあげたのです。テレビを観て興奮のあまり血圧も急上昇し、心臓はバクバク状態でした。秋田にも明るい兆しが見えてきたと喜びつつ、令和の1年・1年を目標を持ち有意義に過ごしていきたいと思う今日この頃です。

さて、次のバトンリレーは昭和の時代から長い付き合いのある寒

河江市在住の阿部正幸さんをお願いいたします。



盛岡電友会
菅原 良子(平1)

からのバトン

五ツ橋クラブ 箕輪 元三さんへ

田端瑠美子様よりお電話を頂きありがとうございました。瑠美子様との出会いは御主人の幸男様と施設課時代出張が多く家庭を留守がちの為家庭サービスタとして夏海水浴場へ1泊旅行を実施しました。その折奥様方と親しくなりました。御夫妻は名取市に移住され地域の為貢献されており感動しております。

私退職後30年すぎ、米寿もすぎその間多趣味に興じ特にハーモニカ、大正琴では各県持ち廻りの東北大会に出場し仙台の(故)小嶋様、(故)菅昭男様、福島の(故)井口明子様、山形の高山ミヨ子様方にお逢いするのが楽しみでした。



デコパージュ エッグアート

現在協会を退会しています。ボランティアとして当初病院、養護施設、心身障害施設等訪問の折「七つの子」を演奏すると母親を思い出し大声で泣く子、ベッド生活の子は頭や手で一生懸命リズムをとっており涙がこぼれ落ちました。高齢社会に入るとケアホームからの依頼が多くなり今は事前にホームより希望曲を頂き歌詞カードを作り一緒に歌いながら演奏しております。演奏後茶菓子を御馳走の折はホームの方々と会話をさせていただきます。

デコパージュではイベント会場



パソコン作品

O・B余技作品展に作品を出品しております。80才過ぎてから、パソコン教室に入門しワード、エクセル以外に旅行写真等CD・DVDに取り込み、CD失敗作で時計、マグカップ、Tシャツ等に思い出の写真をプリントポスター、カレンダー、手帳、アルバム等作成し友人に差し上げております。

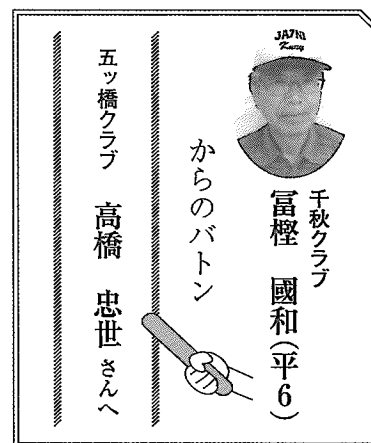
次のバトンは施設課時代実施計画書、建設予算現計書作成の為、缶詰作業を共にした上司の箕輪元三様をお願いします。

堀川賢一さんとは「協和エクシオ」で、ドコモ中継基地工事が真つ盛りの頃、担当地域は違いましたが、打合会やゴルフ・囲碁で親しくつきあってももらいました。

退職後もゴルフ会で一緒にしておりますが、今年は私の傘寿の同級会と重なり、来年又会いましょう。

私の趣味はアマ無線、ゴルフ、囲碁、栽培ですが、1番時間を使っているのは高校2年からやっているアマ無線で、4坪の土地に、50mのタワーを建て、他の人には聞こえない、微弱な電波をとらえる工夫や研究をしています。

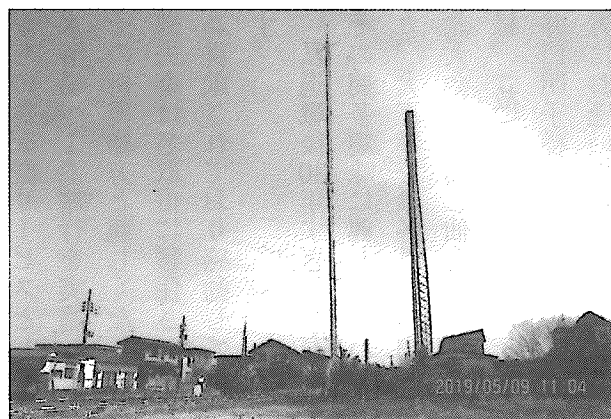
私の得意な周波数は1.8メガヘルツと長波長で、日本一の記録を保持しているのが自慢です。



千秋クラブ 富樫 國和(平6)

からのバトン

五ッ橋クラブ 高橋 忠世さんへ



50mのタワー

タワーの下が自宅で、妻と野菜・果樹等を作っています。

ゴルフの練習もできるのですがやる事ないのでハンデ18から下手になる一方。

土地が広い分、雑草がやたらと元気で草刈りに多くの時間がかかりますが大変です。

ブログをやっていますので「J A7NI」で検索してご覧下さい。

次のバトンは鈴鹿電通学園で青春の1年間一緒だった高橋忠世さんをお願いします。

会報編集委員会では会員の皆様からの原稿を募集しております。

でんでんみちのく 川柳コーナー

○川柳 〈お一人3首(句)以内〉

※投稿は紙面の都合上、一人3句までとさせていただきます。
多数投稿されている場合は勝手ながら編集担当で選定いたします。

お題は自由です！
お気軽に
応募ください！

会友コーナー

文芸

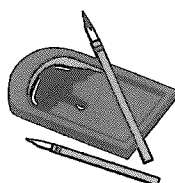
俳句

短歌

詩

随想

文芸欄



俳句

電友会仙南OB会

大庭美智子

主なくて摘むを忘れて臺が立つ
お節句に雛飾りても孫はるか
ふらここを漕ぐ児の笑い母の眼や

福島地区電友会

関戸 武

水中花ひそかな蕾抱きをり
夕立の甘き匂ひの中にをり
蝉時雨茜の雲を振り絞る

白鳥の別れの言葉高くして
冬木の芽心冷えの覚めにけり
単日で鳥の声の淋しけり

加藤 良栄

五ッ橋クラブ俳句同好会

泉 アヤ子

ビルの谷門松かなし日陰者
春暁や子葉の胴上げ土一片
ふる里の蔵に眠るや古火鉢

斎 仁二郎

晦日そば妻の席には娘座す
かまくらの中より孫の電話かな
雁風呂や津軽の友は語り部に

佐々木栄一

手垢つく家計簿閉じて年終る
春眠や大往生の顔をして
白神を背に春愁の旅三日

富樫 瞭

灯り無き家また増えて冬の月
復興の浜に駅あり初茜
早春や電車待つ娘の英語辞書

弘前地区電友会

倉谷景子

亀鳴くや平成もまた夢の中
五能線雨に煙るは青田波
まだ熱き薬缶の麦茶朝の卓

八戸地区電友会

坂上エソ子

園児らの赤白帽子飛花落花
緑濃き街路樹の瘤ごつごつと
微睡みて亡夫の声かも四月馬鹿

佐々木敦子

風捉へ風に乗りたる海猫万羽
異国語の飛び交ふ城址花の雲
風からむ灯台高し冬はじめ

川柳

五橋川柳会 会員作品抄

赤木 邦夫

風邪ひいた妻の寝顔に見惚れてる
定年なのに仕事している夢をみる
自然豊かな故郷は現在^{いま}在大都会

金澤 克人

おふくろの何時も入れる汐溜り
春雷に怠惰なところどやされる
茶柱に現在^{いま}がチャンスと背を押され

小柳 芳雄

残雪の山持ち帰る写生会
卒寿記念 令和運転経歴書
白魚の指も煮干しになる米寿

短歌

電友会仙南OB会

大庭美智子

ハネムーン 五浦ときめて波と遊ぶ
乙女の頃の あの日もあった
心から 孫慈しみし じじちゃんの

天に昇るを 涙こらえて

札幌から沖縄修学旅行

ホームページで孫の顔見る

詩

盛岡電友会

散歩道

堀根 麟太郎

今日も一人で

街のはずれの散歩道

猫抱く人とすれちがう

猫の名前はムーちゃん

私の顔を眺めてた

今日も一人で

街のはずれの散歩道

犬ひく人とすれちがう

犬の名前は大三郎

私にじゃれて飛んできた

今日も一人で

街のはずれの散歩道

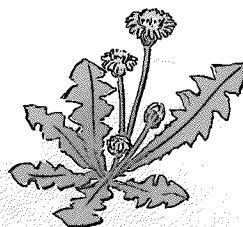
赤ちゃん抱く人とすれちがう

赤ちゃんの名前はサトちゃん

私の瞳にはほえんだ



随想



生きよう、命ある限り



電友吾妻会

大塚 美和子

「90歳、何がめでたい」と言ったのは、作家の佐藤愛子さんである。あれから4、5年経っているからもう95歳位か。

私は今年88歳、米寿である。元職場の人や老人会・近所の方・勿論家族たちから「おめでとう」と言われて、気恥ずかしいような嬉しさで一杯である。「何がめでたい」なんてとても言えないどころか感謝、感謝である。

無為に過ごしてきた88年をふり振り返り何も残したものが無い事に申し訳ない気持ち、残された日々は少なく頭脳も体力も衰えてゆくのが目に見えて、とても日進月歩、秒速の進化に追いついて行けないという役立たず者になってしまった。

昭和5年、生まれてきたのが戦争前という運が悪かった。「ほしがりません勝つまでは」

で軍国少女に育て上げられ、勉強のない勤勞奉仕の毎日でがんばったが、原爆投下により敗戦。着の身着のままで引揚船に乗り帰国した本籍地東京目黒区は焼土と化していた。国敗れて山河あり」と言われるが、待っていたのは兄弟7人がばらばらに別れて暮らす辛い時期だった。引き揚げの苦勞で母が亡くなり後を追うように父も逝ってしまった。私たちは生きること必死だった。今思ひ出す事さえつらいが、それでも何とか生きられた。

しかし、よく出来ているものでそれからブルの時代に入り、年ごとの昇給は当たり前、ボーナスも右肩上がりでは私は家庭を持ち、子ども3人を育て、ようやく一人前らしい生活ができるようになった。

平成時代は、噴火、地震、洪水と災害が多くなかでも東日本大震災は私たち福島人にとっては長くも苦しい経験になった。世界的にはテロや民族間の争いで心安まる時はなかった。新しく迎えた令和の時代が、これからどのようなようになってゆくのか、今までの経験が良き時代の礎となってくれるよう祈るばかりだ。目の前のオリンピックとパラリンピックは、楽しい令和の幕開けで、人々の夢は広く大きく宇宙へと広がっている。

90歳、100歳が当たり前の時代になって

きているのだから、ここで手足を思いっきり伸ばして、あらためてふんばり直してみよう。100歳!!何かがめでたいことがあるんじゃないか。昭和、平成、令和、折角三時代を生きてきた命なのだから。

10月23日はダブル記念日



白河地区電友会

瀬戸 安夫

早いもので退職して13年になります。現職中は「地域と共に歩むNTTマン」として地元で仕事をしてきた結果、今があります。「しらかわ地方の文化振興の発展」を目的に設立したNPO法人カルチャーネットワークの事務局長その後理事長として、残りの人生を心豊かに生きるように活動しています。

白河文化交流館コミネスの指定管理者になり、開館準備を経て平成28年10月23日にオープンしました。オープンから2年半経過しまして、より多くの市民にご利用頂いています。松平定信公の教え「市民共楽」そしてコミネスのある生活が根付くよう質の高い舞台芸術を提供していけるよう心がけています。10月23日は、電信電話記念日そしてコミネス開館

記念日になりました。(おまけ) 実父「仏心院仁徳安正清居士」の命日も同じ日ですので感謝の日々です。

蒸気機関車を想い続けて



福島地区電友会 渡部 司

退職して間もないある日『今度生まれたら何になりたいの』と突然妻に聞かれ、とっさに『蒸気機関車(SL)になりたい』と答えたら『何を考えているの』とあきれた顔をされた。大好きなSLの為に何が出来るだろうかと、考えたことがあった。全国を走っている姿を自分の手で写して、ずっと残しておきたいと思った。横浜の電話局の機械課勤務の



C 61 高校時代の原町機関区

時は、宿直明けと格安の保養所を利用した撮影旅行に出かけ、いろいろな思い出を持つことができた。

北海道の羊蹄山を背景にC 62急行ニセコを写し倶知安の旅館に夜8時頃たどり着き、宿の親父から、あの付近はよく熊が出没する場所だと言われてビクビクしたこと。会津柳津の山中で雪洞に落ち三脚を使ってようやく脱出できたこと。山陰本線の福知山駅へ一歩列車に乗るために早朝歩いていると、数匹の犬に吠えられ追いかけて逃げまわったこと。京都の園部付近の田んぼ一面に咲くレンゲ草と菜の花とのコラボレーション、かやぶき屋家の側を白い煙を吐き、走って来た姿には、これぞ日本の原風景と感銘したこと。その帰り京都のお寺に立ち寄り、手水と思い水を飲んだらなにか味があるようでした。後で寄ってみるとなんとハトが数羽水浴びをしていた。磐越西線を復活したD 51が冬に走ることになりました。全国から鉄チャンがやって来て、良い撮影場所の確保が大変です。防寒服に身を包み朝の2時頃起きて、ポットに熱いお茶を入れてガサゴソしていると『何やっているの！こんな時間に』と妻に小言を言われます。言っても頭の中はどの場所が良いか、D 51が煙を噴き上げてくれるか：で頭が

一杯です。『ちょっとD 51君に会いに』と言って出かけます。撮影場所には、3時頃着きますが、既に数人テントの中で待機しています。お互いお茶を飲み情報交換をして、それぞれの思いの場所へ移動、通過する時間は、10時半頃です。吹雪が舞い底冷えしますが待ち続けます。頼りの綱は、ホッカイロと先程のお茶です。待っている間、自分は一体何をしているのだと考えると、訳が分からなくなりますので考えないようにして、温かいお茶を飲みながらただ待ち続けます。うまく思い通りの写真が写せたと思うときには、帰りの車



C 11 只見線柳津付近



D 51 磐越西線山都付近

で祝い船のカセットを聞きながら帰って熱燗で一杯。

横浜の独身寮時代、結婚の承諾を頂きに宮崎にある妻の実家を訪ねた。その夜、ご親戚の方々から焼酎をガッチリ頂き、翌日義兄に連れられ実家の近くで写した。夜は、一晩中駅を発車するSLの汽笛やブラストの音が聞こえ居ても立ってもいられない素晴らしい夜だった。その後も訪ねる回数も増えた。

最近では、磐越西線等で撮り、高校生時代に写した常磐線のSLの写真を鉄道誌出版社に取材協力しながら楽しんでいきます。

俳句とお茶と私



千秋クラブ

工藤 敏夫

「千秋の茶会へ急ぐ夏草履」この句に選者は毎年6月初めに行われる千秋公園での「野点」の句で、夏草履の「季語」がゆるがないと評された。「野点」と「季語」のことに惹かれて辞書を引く。野点は野外で茶を立てること。季語は俳句で季節感を表すためその季節を示す語として詠み込むことを定められた語とあり納得した。

地元秋田の魁新報へ小生が投稿した句が前記の句です。

俳句づくりをしてるがいずれの句会にも入っておらず全くの我流です。小学生の頃、担任が国語の研究者で毎日日誌を書かせられてたので書くことは億劫ではない。季節の移り変わる風景や気付いたことをメモしてるうちに、五七五のリズムに惹かれ、俳句らしくないことばを並べて楽しんできた。

俳句には季語、文字数などルールがあるから、それは守らなければと思いつつあまりルールにとらわれず句づくりしてきた傾向があり自分の句の評価を知りたいという動機で投稿するようになった。それが俳句への再出

発点となるよう取り組んできた。

選者からは健康に留意して俳句を老後の楽しみにしてほしいと温かい励ましのことを頂いた。こうした機会をもてるのも、健康だからだと思っている。

秋田の四季の風景は天々魅力がある。特に草花が自然に芽を出し花を咲かせ実を付け枯れていく様を見てきた。それに四季折々の人の営み、節句の行事が句材に多く取り上げられ詠まれてたことも知った。

象潟きまかたや雨に西施がねぶの花 芭蕉

俳句は芭蕉。芭蕉と云えばおくのほそ道。

そのおくのほそ道の最終目的地は象潟だったと云う研究者もいる。象潟は九十九島・八十八潟があつて目を楽しませてくれ松島と並び称される景勝地だった。

前記の野点の千秋茶会は、佐竹25万石の城跡本丸で秋田県内の各流派が集まり心を込めた一服を堪能できる野点茶会です。

お茶を頂くのは見よう見まねでどうにかできるでないかと会場へ行く。幕を張った中の椅子席で待ってたら和菓子の鉢が回ってきた。どうしようと、もたついていたら隣の席の方が懐紙をくれ、それにとりなさいと教えてくれた。普段はお茶を飲みながらお菓子を食べますがすぐ食べてもよいとのことでした。

菓子一個口にするのにいろいろ仕ぐさがあるのにお茶がきたら、どうしようかと他人様の仕ぐさを見てました。目の前に大きな茶碗が置かれたら少々とまどったが、お気軽に召しあがって下さいとのことでしたので、ゆつくり口にし、ほっと一息つけた感じだった。今回の茶会のテーマは「喫茶去」で「どうぞお茶を一服おあがりください」という意味でした。

近況(長く続いたこと)



弘前地区電友会 泉谷 清司

退職後は色々なことをやってみたくて漠然と考えつつ平成30年3月末に満62歳で退職しました。

性格的には新しいことにすぐに飛びつくが飽き易く何一つとして極めたものがない器用貧乏です。

飽き易い性格ですが長く続いたものが、仕事、喫煙、ゴルフ、園芸、競馬です。

仕事は44年間の勤務で窓口・総人労・営業に従事し18回の転勤と11年間の単身赴任を経験しました。全ての勤務場所で上司・同僚等

のご指導・ご支援を頂き勤めることが出来たと思っております。感謝あるのみです。

喫煙期間はフライングがあるため(笑) 44年以上になりますが、元号が「令和」に変わるタイミングで健康のため一大決心をしてお休みしました(今も吸いたい誘惑に襲われて必死に戦っている状況です↓負けないぞ)。

ゴルフは26歳で当時の東北電気通信局に転勤になった際に、着任早々上司にゴルフクラブを買わせられて以来続いています。50歳過ぎてから益々盛んになり、近年はOB会のコンペを含め年間30ラウンド以上プレーしています。目標スコアは30数年間、何時も100切りで変わりません。(上達していません)

ゴルフが継続出来るのは「心身」、「財布」、「友人関係」の3つの健康が必要との先輩の教えがあり、その維持に心掛けています。

自分でも続いているのが不思議に思うのが園芸で、先輩から「月下美人」、「さざ草」を頂いたのがきっかけです。

「月下美人」は夜に一夜限りの真っ白い花を咲かせ濃厚な香りが特徴です。朝になるとすっかりしぼんでしまう様子は、まさに美人薄命の言葉そのもので、最初に開花を目にした時はその神秘的な美しさに魅了され感激しました。

その後「君子蘭」、「夾竹桃」、「ベゴニア」等様々な草花を加え育てていますが、水やり等手入れしている時は心とむひと時です。

競馬歴は30年以上になりますが、ネットで「勝ち馬投票券」を購入しているが、結果「負け馬投票券」(笑)を購入している今日この頃です。あくまでもお小遣いの範囲内で冷静に遊びの気持ちが必要と思っています。

人生100歳の時代、「今日用事がある」、「今日行く所がある」、惚けっとなっていないで元気にセカンドステージをもっと楽しみたい。

自然から得るもの



青森地区電友会 田中 喜代一

山の魅力と憧れを持たせてくれた1冊の本の存在があった。尾瀬を生き、愛した人が書いた「尾瀬に死す」である。

昭和47年4月に盛岡に採用となりそれを読んだ事がきっかけで東北最高峰の燧ヶ岳を知り、岩手の山々に魅せられてしまった事である。それからは、夜行列車で数回尾瀬に行き自然を満喫した。その度に、交替勤務を変更した職場の皆さんには迷惑だったに違いない。

それでも自然の織り成す宝物に会うため行ってしまうのだった。しかし、数十年前からその機会も減り自給自足であるが農作物を作る方へ力が入っている。旨い野菜を食いたい事からハウス内では、落葉を敷き薬剤散布をしない事に。肥料は米糠、くん炭、鶏糞等を入れ自然からの恵を引き出すため少しの努力も問わず、毎年のサイクルを怠らず実行することになっている。

自然の生み出す力と向き合って心身の癒しと旨い物作りを追求しようと思う昨今である。

長寿を迎えて



電友あさか会

七海 皓瑛

この度、私は「電友あさか会」より喜寿のお祝いを頂きました。改めて私ももうそんな歳になったのかと驚いているのだが、これまでの歳月を振り返ると、その基本となった生活に於いて、本当に良き職場に恵まれたことに感謝する次第である。昭和17年、私は東京杉並区に生まれたが、当時は戦争の真っただ中、東京も空襲に見舞われるようになり、両親と私は、故郷の郡山に疎開する。昭和19年

12月の事だった。そして終戦、だが翌21年父は他界。母と私は東京へ戻らず、故郷の地で暮らす事となった。

昭和36年当時の電電公社に入社。三春局を皮切りに、郡山局、白河局、再び郡山へと職場も電報から営業、法人対応へと組織改変に伴って勤める事ができました。そして平成14年、還暦を迎えた年、私は入社より40年と1ヶ月を持って退職しました。

退職後の私は、かねてから徹底してやりたかった趣味の1つ「絵と歴史研究」にいそしんでいます。お陰さまで平成16年以降出版出来た書籍は『ボルテ・チノ真義経記』を始め『隠された郡山の戊辰戦争』『安積』『Cosmic Only 宇宙にたった一つの命』等、共著を含めると20冊ほどになります。

また10年程前から取り組んでいる『万葉集研究』は、現在face bookを活用し『わたしの万論』シリーズとして掲載中です。特に昨年は「和歌の母」とされる「安積山影士へ見ゆる山の井の浅き心をわが思はなくに」の歌発祥地としての郡山、安積国造神社鳥居脇に『大伴家持誕生一千三百年、木簡発見十周年記念碑』を建立する事ができました。

◆会友コーナーへの投稿について

◎他紙等への二重投稿はご遠慮願います。

◎随想コーナーへの投稿については誌面の都合上、左記内容にご協力をお願いいたします。

○掲載・・・年1回

ただし、投稿数が多い場合は次号に持越しとさせていただきます。

○字数・・・1200字以内厳守

○次回締切り・・・2019年10月20日厳守



でんでんみちのく

川柳コーナー

お題は自由です。
お気軽に
応募ください！

電友会仙南OB会

大庭美智子

百日忌心に響く僧の経
委員会事務方に助けられ解答す
みちのく欄いわきなつかしふるさとよ

弘前地区電友会

ゆきやなぎ

充電中私の三百六十五連休
死ぬ時期はたぶん令和と納得す

福島地区電友会

三森 陸美

欲しい札なかなか出ない七並べ
卵魂の高さが示す暖冬を
信ずるな儲け話に裏があり

福島地区電友会

末永 逃郎

ハザードマップ広域過ぎてどこ逃げる？
非常食試食し過ぎて在庫なし

福島地区電友会

高橋 敬一

エイプリル元号発表それ本当
10連休今の俺には無縁物
スカンポを噛んで昔を懐かしむ

電友あさか会

栗野 忠明

八十八才もう少しあさか米を
食べてから年令に卒業はない筈よ

千秋クラブ

高橋幸雄

毎日の布団上げ下げ辛くなり
登山道白髪男女の長い列
山菜の匂を惑わす栽培で

◎投稿は紙面の都合上、一人3句までとさせて
いただきます。多数投稿されている場合は
勝手ながら編集担当で選定いたします。



NTT東日本から退職者の皆さまへ

■長寿お祝いについて（勤続20年以上の退職者対象）

NTT東日本社長からのメッセージを添えた「カタログギフト電報」と花を贈呈させていただきます。

長寿の種類	贈呈品
喜寿（77歳）	カタログギフト電報+花 （1万円相当） （5千円）
米寿（88歳）	
白寿（99歳）	

（注：年齢は満年齢でNTT東日本が把握し贈呈しております）

■弔慰金の取扱いについて（勤続20年以上の退職者対象）

NTT東日本から以下のとおり香典をお贈りしています。

本人・・・30,000円

配偶者・・・10,000円

※贈呈期限については、長寿お祝いは該当年齢の誕生日から
弔慰金は死亡の事実が発生した日から、それぞれ2年以内と
なります

長寿のお祝いおよび弔慰金に関するお問合せは
NTT東日本-東北 総務部 社員サービス担当へご連絡ください
TEL：022-281-8716
Mail：obfuhou@east.ntt.co.jp

◎表紙写真の紹介

シリーズ よみがえるあのころ

「電話がみえる心の風景」

「尾瀬の夏山公衆電話」

表紙は34年前（昭和60年）、尾瀬が原にある燧小屋に夏山公衆を設置している写真です。携帯電話が普及する以前、登山や観光の基地となる山小屋やレストハウス等には山開きを前に夏山公衆電話が設置されたものです。ここでも機械課、線路課等局内の関係部門の社員が協力し開通。折しも民営化直後の時期で、無事試験通話を終えた安堵感と多くのお客様に喜んで頂けるという満足感を覚えながら山を下ってきました。

(写真提供／電友会福島支部)

●●●編集後記●●●

最近、高齢者が引き起こす交通事故や事件が多く、同年代として自戒の気持ちが高まります。そんな中、小生にも運転免許更新に伴う講習所での受講通知が届きました。

自身の注意のみならず、客観的な視点での判断が必要な年齢となったことを自覚させられ、いよいよ返納に向って準備する段階に入ってきたことも感じざるを得なくなりました。

一方で車は生活の必需品として当面は切り離せません。慎重にも慎重を期して日々の運転にあたりたいと思います。

さて、今回も沢山の投稿、ありがとうございます。

特に、新人(?)の登場は、「朋、遠方より来るあり」の気持ちとなり嬉しくなります。

現役を離れ、仲間との語らいも少なくなる昨今、趣味のサークルに参加したり、仲間との交流を大事にされる方も多いと思います。

本会報への投稿も、書く方にも読む方にも「心の交流の場」となり、「心豊かな生き甲斐支援」の一つとなれば望外の喜びです。

今年の東北南部の入梅は例年より5日ほど早くなりました。長い梅雨がまたやってくると思うと少々うんざりですが、この会報が届く頃は、カラッとした夏空が広がっていることを期待して事務局員一同奮闘中です。

皆様、熱中症などならないよう体調管理にくれぐれもお気をつけお過ごしください。

◆85号の巻頭言は、本年7月着任された、NTT東日本福島支店長山貫昭子様にお願ひしました。心より感謝申し上げます。

◆次号(86号)会報について

・発行時期 2020年1月1日

・原稿締切 2019年10月20日(期日厳守)

◆次号(86号)の巻頭言は、NTT東日本岩手支店様、電友会岩手支部にご協力をお願い致します。(S・T)



東北電友会会報 第85号

令和元年8月1日発行

〒984 8519 電友会東北地方本部

仙台市若林区五橋3-2-11

NTT五橋ビル内

電話 022-212-1144

FAX 022-212-1144

印刷 株式会社 仙台紙工印刷